

りゅうがく館だより



令和7年 10月号

10/27～11/9 は、読書週間です。

寄贈・除籍資料の譲渡会を開催します。

無料!

場所：りゅうがく館 図書室
対象：除籍資料と寄贈本
※ 無くなり次第終了

- ・冊数の制限はありません。
- ・本を入れるための袋を持参してください。
- ・譲渡された本が不要になった場合は、図書室に返却せず、ご自身の責任で処分してください。
- ・譲渡された本を古本屋に売却したり、オークションに出品することはご遠慮ください。

10/27は、『文字・活字文化の日』です。

「文字・活字文化振興法」は、文字・活字文化の振興を目的とし、2005年に制定された法律です。本に触れる機会が少なくなっていないですか？この機会にあなたの1冊を見つけませんか？

音楽と 絵本の世界 in 鹿児島



「絵本ライブ“音楽と絵本の世界”」が奄美大島で初めて開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

日時：12月6日（土）13：30～15：15（開場 13：00～）

場所：りゅうがく館講堂

定員：150名

対象：高校生以上（子ども同伴可）

参加費：無料

申込方法：チラシのQRコード、もしくは申込票を提出
りゅうがく館へ電話申込（0997-62-3110）

※事前申し込みが必要です！

「生涯学習講座」紹介コーナー



『はじめての水彩画で鳥さんをかこう』

講師：才木 美貴 先生

活動日：第2日曜日 13：30～15：30

初めて筆を持つ人、絵が苦手な人も歓迎します！下絵があります。

お知らせ

本にセロテープを貼ると、テープが劣化してしまい、本が傷みます。破れている本を見つけたら、そのまま図書室にお持ちいただき、破れている部分がある旨を職員にお伝えください。

《一般書》

- 『わが子を“自分で考える子”に変える本100冊』(宝島社)
- 『今日は甘いものを食べたい日』(三國 清三/KADOKAWA)
- 『ゼロからスタート!Unityゲーム開発1冊目の教科書』(ひろはす/KADOKAWA)
- 『戦下の読書 統制と抵抗のはざままで』(和田 敦彦/講談社)
- 『日本語界限』(川添 愛/ポプラ社)
- 『転ばない足腰』(山田 実/東洋経済新報社)
- 『101歳、現役の化粧品販売員トモコさんの一生楽しく働く教え』
(堀野 智子/ダイヤモンド社)
- 『キレイな人がいなくなる方法 これで毎日がラクになる!』(堀 もとこ/あさ出版)
- 『わたしは煤図かすお マンガから芸術へ』(煤図 かすお/中央公論新社)
- 『ジェイムズ』(パーシヴァル・エヴェレット/河出書房新社)
- 『ババヤガの夜』(王谷 晶/河出書房新社)
- 『あなたが僕の父』(小野寺 史宜/双葉社)
- 『夜間頻尿の正体』(都田 慶一/幻冬舎メディアコンサルティング) 他

《児童書》

- 『ようかいむらのまんまるおつきみ』(たかい よしかず/ 国土社)
- 『すごすぎる宇宙・天文の図鑑 宇宙と物理のしくみがわかる!』
(天文物理学者BossB /KADOKAWA)
- 『ドズル社の「伝える力」を伸ばす語彙力バイブル』(ドズル社/ KADOKAWA)
- 『10代から知っておきたい認知症の世界 共生社会を考えよう』(宮崎 雄生/旬報社)
- 『鉱物の学校』(松原 聡/ニュートンプレス)
- 『ぼくとコテツの最後の3ヵ月』(槻木 こえだ/Gakken)
- 『こども工作あそび いっしょにつくっていっしょにあそぶ』(たここ/朝日新聞出版)
- 『ぞくぞくうきうきハロウィン』(フリーダ・ナエミ・パースソン/ほるぷ出版)
- 『この世は生きる価値がある』(長谷川 まりる/ポプラ社)
- 『動物の義足やさん』(沢田 俊子/講談社)
- 『真実の口』(いとう みく/講談社)
- 『いちばんはじめのほしずかん』(永田 美絵/成美堂出版)
- 『データサイエンス 統計で問題解決! 学校では教えてくれない大切なこと 49』
(関 和之/旺文社) 他

《一般書》 今月のおすすめ本

『奄美妖怪考: 日本(ヤマト)と琉球、そのはざまの怪異誌』

(町 健次郎/笠間書院)

これまで話題に取り上げられることが稀であった奄美群島の怪異＝ムン(ムヌ)の世界を、郷土誌(史)と島の人々の話をもとに構成。事例紹介にとどまらず、怪異をめぐる語彙解釈や様態分類、傾向把握、話のモチーフ分析、始原論、系譜論、現在論など一考を加えて解説しています。文とイラスト

《児童書》 トで奄美群島の怪異世界を覗き見ることができる1冊です。

『食べるのが楽しくなる口のひみつ』(今泉 忠明/創元社)

この本で、あらゆる口のひみつを知ることになります。口のしくみやはたらきを、人体、動物学、歴史、社会、心理など、関連するさまざまなトピックで解説しています。読み終わるころには、誰かに話さずにはいられないはずです!

